

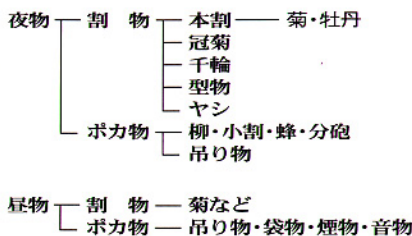
花火の種類

花火（火薬取締法では「煙火^{えんか}」と呼ばれています）には次のような種類があります。

（表）日本の花火の代表ともいえる打ち上げ花火を中心に、以下説明していきます。

●浮模倣（割物花火のアクセントとして）
●曲導付（割花火玉をつけるアクセサリとして）

花火の種類



打ち上げ花火

おもちや花火

- 回転する
- 飛ぶ
- 煙を出す
- 爆発音を出す
- 火花を出す
- 打ち上げる

仕掛け花火

- | | |
|----|----------|
| 夜物 | 棒物 |
| | 滝 |
| | スターメイン |
| | 水中花火・水中物 |
| | 回転物 |
| | 乱玉 |
| | 噴き出し物 |
| 昼物 | スターメインなど |

割物^{わりもの}

大空高く、ドンという音とともに、花のように大きく開く、花火の王様。大きく丸く開く球形の花火は日本独自のものです。この技術は世界から高い評価を得ています。

最も古くて代表的なものが「菊^{きく}」。上空で玉が開くと星が四方へ尾を引いて飛び散り、丸く花を咲かせます。菊に対し、尾を引かない星で光や色の点を描き花を咲かせるものが「牡丹^{ぼたん}」。両方とも、一つひとつの星が二色三色と変わる変化菊^{へんかぎく}（牡丹）や、一つの円でなく芯が入る芯入り菊（牡丹）、芯が二重の八重芯菊^{やえしんきく}（牡丹）、三重の三重芯菊^{みえしんきく}（牡丹）など、さまざまな種類のものがあります。

ポカ物

上空で花火の玉がポカッと二つに割れて、中に納められた星やさまざまな種を放出す